

令和元年度 事業計画(案)

日本の観光は、ビジット・ジャパン・キャンペーンが始まった平成15年の訪日外国人旅行者数は521万人でした。平成30年度では、史上初めて3,119万人と大きく増え続けており、過去最高を記録しております。また、訪日外国人旅行者による旅行消費額についても、平成30年度では、過去最高の4兆5,189億円となり、インバウンドによる消費が日本経済を下支えするまでになっており、2020年に訪日外国人旅行者数4,000万人、訪日外国人旅行消費額8兆円の新たな目標達成に向けて更なるプロモーションを中心とする誘客活動や観光消費額拡大に向けた取り組みを推進していくことが重要であります。

白老町の観光では、「民族共生象徴空間(ウポポイ)」の開設まで残すところあと1年となりました。町内の観光資源を活用したコンテンツの開発や受入体制の整備や道内外・海外へのプロモーション等の誘客活動や白老駅北観光商業ゾーンにおける象徴空間周辺の環境整備等がより加速されます。そのためにも観光地域づくりの担い手となる日本版DMO候補法人登録を今年度中に申請し、地域の「稼ぐ力」の創出するための明確なコンセプトを作成し、観光地域づくりの舵取り役となることにより、町内の来訪者数300万人の達成を目指し努力して参ります。

●2020年4月24日に開設されるアイヌ文化復興のナショナルセンター「民族共生象徴空間(ウポポイ)」を地域活性化へ繋げる千載一遇のチャンスと捉え、アイヌ文化の誇るべき価値や魅力を世界をはじめ道内外に発信するとともに、開設機運の醸成及び誘客促進を図ります。

●虎杖浜・竹浦地区は、虎杖浜竹浦観光連合会と共に、来年度開催予定の「第16回日本源泉かけ流し温泉サミット」を虎杖浜温泉で開催するためにおもてなしの諸準備をして参ります。源泉かけ流し温泉の素晴らしさを全国に発信していきます。アヨロ鼻灯台の周辺を地域のシンボリックな施設として環境整備することで周辺地域の歴史や文化や遺跡の魅力を再発見して参ります。虎杖浜温泉や前浜産食材等の魅力アップを図りながら、虎杖浜かに・たらこ・温泉三大祭りや日帰りバスツアー等の開催、道内における老人クラブ等の誘客事業等を展開していきます。

●2000年の森ポロト自然休養林については、2020年度に通年開設を目指しながら多種多様なニーズを持ったキャンプ場の創出や保全活動や情報の発信など、冬の風物詩となっているポロト湖のワカサギ釣りや夏の自然散策やアクティビティ等アイヌ文化との連携を中心とした体験プログラムツアーなどをFIT客に対して積極的に事業展開し、ポロト自然休養林保護管理協議会やポロトの森エコミュージアム推進協議会との連携を図り、今後の受入体制の整備を強化していき、より多くの方々に愛される場を作って参ります。

【個別事業の概要】

1. 広告宣伝事業

新聞や各種の情報誌等の媒体を通じ、白老町の国内での知名度を高めるための事業展開を積極的に図るとともに、白老町特有の観光資源の視覚的魅力を訴求するためにも、北海道観光振興機構等による事業への協賛及び独自広告宣伝物の作製を推進します。

◇取り組みの事業概要

○新聞・雑誌広告	250,000 円
○旅行情報誌掲載事業	200,000 円
○各種観光事業集客広告事業	100,000 円
○誘導案内看板管理事業	133,000 円
○インターネット事業	80,000 円

2. 誘客事業

北海道観光振興機構、北海道登別・洞爺広域観光圏協議会、登別市・白老町観光連絡協議会等が行う誘客事業に協賛して白老町への誘客を促進するとともに、白老観光協会が独自に主催する共同誘致キャンペーンによる誘客促進と各事業者のホスピタリティ醸成等の受入体制の整備が図れるような誘客活動を推進します。

◇取り組みの事業概要

○観光客・修学旅行誘客活動事業	250,000 円
○虎杖浜温泉観光活性化事業	1,500,000 円
○町内飲食店マップ作製事業	462,000 円
○北海道ふっこう割事業	226,000 円

3. 会員指導育成事業

会員と白老観光協会を結ぶ情報手段として会報「かんこう白老」発行を行い情報発信を図ります。

◇取り組みの事業概要

○会報発行「かんこう白老」（年1回）	10,000 円
--------------------	----------

4. まつり・イベント事業への協賛

町内外から多くの人を集める「まつり・イベント」は、情報発信の貴重な機会であることから、各まつり・イベントへ協賛し、観光情報の提供のための観光案内所を設置するとともに町内の各施設へ誘導するための事業を推進します。

◇取り組みの事業概要

○第30回白老牛肉まつり	6月	
○第8回虎杖浜かにたらこ温泉三大まつり	8月	
○2019年元気まちしらおい港まつり	7月	100,000 円
○2019BikeJIN祭り in 北海道@白老	9月	200,000 円
○第42回登別漁港まつり	9月	
○第31回しらおいチェプ祭	9月	

5. 収益事業管理

民族共生象徴空間（ウポポイ）への来訪者に対する利便性を高める便宜供与のために、公益法人を補完する新たな収益事業の構築を中心とした事業を行います。また、地域コーディネート機能の役割を中心とし職業体験や鮭遡上見学や白老ねっと商店等販売を推進しながら収益金の一部を一般会計へ繰り入れし、公益事業の拡大を図るために、効率的な運営を図ります。

◇取り組みの事業概要

○白老ふるさと 2000 年の森管理業務（指定管理者 5 カ年）	10,137,000 円
○自転車・カヌー貸付事業	40,000 円
○ポロト売店・自動販売機設置事業	45,000 円
○ワカサギ釣り事業	977,000 円
○白老ねっと商店事業（インターネット販売）	202,000 円
白老町ふるさと GENKI 応援寄附金事業（ふるさと納税）	
○コーディネーター事業（職業体験・鮭遡上見学等）	10,000 円

6. 日本版DMO候補法人登録申請

本町の観光による地域づくりを推進するために日本版DMO候補法人登録申請を目指し、安定的な収益事業を基盤とするため観光資源を活用した「アイヌ文化を核とした魅力発信業務」や「民族共生象徴空間受入体制整備事業」（地方創生推進交付金事業）や観光インフォメーションセンターの指定管理業務を直営で取り組むことにより、白老版DMOを中核とした自主的な「稼ぐ力」の創出を図る。

◇主な会議の概要

- 白老まちづくりDMO戦略協議会（仮称）

7. その他

◇取り組みの事業概要

○観光資源推進活動調査費	20,000 円
--------------	----------

8. 会議等

◇主な会議の概要

- 通常総会
- 三役会
- 理事会
- 専門委員会
- 各所属団体会議